

増子ひろき

東京都議会議員

【増子ひろきプロフィール】1959(昭和34)年生まれ。衆議院議員秘書を経て平成3年より文京区議会議員4期。平成11年第35代文京区議会議長。平成17年より東京都議会議員。経済・港湾委員会委員長として、新銀行東京、築地市場移転問題に取り組む。現在は都議会民主政策調査会会長代行。東京都都市計画審議会委員。



定例会

東京都議会第1回定例会報告 PART2

増子都議、予算特別委員会で質疑

▶ 増子都議の予算特別委員会質疑は117分に及びました。
前号で報告できなかった質問と答弁をダイジェストで報告します。

質疑 01 ベンチャー企業支援

増子都議 ベンチャー企業の成長を後押しするためには、出資による資金供給を行う事や、インキュベーション施設については、要件緩和を行い柔軟に対応する事など、支援の輪を広げていくことが必要と考えるがどうか？

産業労働局長 新年度より「インキュベーションHUB推進プロジェクト」を実施し、複数のインキュベーション施設が協力し、創業の段階に応じたサポートを一体的に行う取組を支援してまいります。

質疑 02 道徳教育の充実について

増子都議 道徳教育は机上の学習にとどまらず、地域の行事への参加など体験活動を重視したものを行っていくべきと考えるがどうか？

教育長 社会の一員としての自覚や社会貢献意識を培う事が出来る都独自の道徳教育教材集を作成し、都内の全児童・生徒に配布することとした。さらに地域での活動と関連を図った道徳教育の実践例を各学校に周知するなどして、体験と授業での学びを結びつけた道徳教育の充実を図ってまいります。

質疑 03 小・中学校におけるキャリア教育

増子都議 何のために学び、将来どのように役立たせるのかといった自らの生き方のデザインを描かせる事が必要だ。小・中学校におけるキャリア教育の新たな取組の展開について伺う？

教育長 児童・生徒が、実社会で働いている人々から学ぶことは、将来の進路に関する理解を深めるとともに、現在学校で学んでいる事の有用性に気づくことにつながることから、企業や大学等の外部人材の効果的な活用方法を研究するモデル事業を、都内10地区において実施し、その研究成果を広く普及してまいります。

質疑 04 新しい公共の担い手となるNPO等への支援

増子都議 NPOやボランティア団体など様々な公共サービスを担う主体が生まれることにより、地域の活性化が図られる社会があるべき姿と思うが、新しい公共の担い手となるNPO等に対して、都は支援を講じていくべきと思うがどうか？

生活文化局長 庁内各局や区市町村に対し、行政とNPO等との協働事例に関する情報提供を行うと共に、連絡会や協働講座を開催するなど、協働への取組を働きかけている。

今後は今回のモデル事業の成果等の情報提供も含め、これらの取り組みを通じて、課題解決に向けた様々な活動をしているNPO等を支援してまいります。

質疑 05 豊洲新市場の地盤沈下対策

増子都議 5、7街区について沈下が起きていないかを確認し、必要な対策を検討すべきと考えるがどうか？

中央卸売市場長 5街区については道路計画高を考慮して、盛土高さをA.P.6.5mからA.P.8.0mに高くしたことから、将来の沈下を考え碎石層の上端がA.P.2.5mとなるように、碎石層を50cmから最大90cmの厚さで施工してまいります。

質疑 06 豊洲新市場の地下水対策

増子都議 昨年の予算特別委員会で「開場後にも地下水の水位や水質のモニタリングを確実に行う。」と答弁しているが、少なくとも地下水から2年間連続して汚染物質が基準以下になるなど、土壌汚染対策法の指定解除レベルの安全・安心を確保すべきと思うがどうか？

中央卸売市場長 地下水については2年間環境基準以下になることを目指してまいります。

都議会民主党は 2020オリンピック・パラリンピック 招致に全力を尽くします!



東京招致、共にがんばりましょう。

オリンピック・パラリンピック招致に関して、私たち都議会民主党は、猪瀬都事に対し招致成功に向けた質疑・提言をおこなってまいりました。また、都議会としての全国行脚や、議員連盟による署名活動もおこなわれました。

本レポートでは、五輪招致やスポーツ祭東京2013に向けた取り組みについて、「スポーツ特集号」としてお送りいたします。是非ご覧の上、ご意見を賜りたく、お願い申し上げます。

Pick Up
01

東京・日本に活力を与える!

【ロンドン大会の感動を日本で】

東京が招致する意義の大きな一つは、オリンピック・パラリンピックがもたらす感動が、次世代を担う若者たちに夢や希望を与え、活力あふれる社会を生み出すことです。

昨夏のロンドン大会での感動を、次は東京、日本で実現させ、日本の真の復興につなげていくことができます。

【経済効果3兆円!雇用創出15万人!】

また、大会開催により、東京都だけでも約1兆6,700億円、日本全体では約2兆9,600億円もの経済波及効果があると予想されています。さらに、雇用では全国で約15万人（都は8万4千人）の創出が見込まれています。

このように、大会開催によって、経済・雇用の面からも東京と日本に活力を与えることができます。



▲平成24年8月20日、ロンドン五輪の日本人メダリストらによる銀座パレードが行われ、50万人もの観衆が集まり、声援を送った。

Pick Up
02

被災地復興につなげる!

【招致を被災地復興の力に】

「日本の復興」をテーマとする今回の2020年招致だからこそ、東日本大震災の被災地に向け、スポーツを通じて若者に夢や希望を与える支援や経済的な支援など、具体的な支援につながる大会開催となるよう、私たちは東京都に求めています。

復興
応援

【具体的な支援策として】

復興専門委員会で検討された結果、オリンピック・パラリンピック両大会の開会式での点火に向け、被災地を縦断する聖火リレーの実施、宮城スタジアムでのサッカー予選リーグの開催、大会組織委員会が行う大会準備・開催に必要な物資や資材の調達・工事などの被災企業への優先発注など、その他様々な被災地支援につながる事業案が最終報告に盛り込まれました。

これらの事業が将来確実に実現されるためにも、引き続き、招致成功に向け取り組んでまいります。

Pick Up
03

新国立競技場に期待!

【オリンピックスタジアムは国立競技場で】

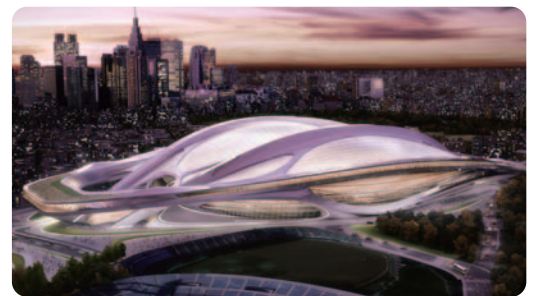
2020年招致では、国立霞ヶ丘競技場をメインスタジアムとする招致計画となりました。

前回の2016年招致では、晴海地区に都立のメインスタジアムを新設する計画でしたが、私たちはその計画に疑義を唱え、過大な社会資本整備を行わないよう都に求めてきました。今回は、要望通り、既存施設である国立競技場を活用することとされました。

【新国立競技場の大きな可能性】

一方、現在の国立競技場は、老朽化、スポーツのルール変更、大会の大規模化などに対応した建て替えが必要です。

平成25年度から基本設計に入る予定ですが、スポーツ以外にも大規模コンサートなどの文化・芸術イベントや、災害時の避難拠点としても活用できる、都民・国民にとって有益な複合施設へ生まれ変わることが期待されます。



▲新国立競技場の外観イメージ

ご意見・ご要望をお寄せ下さい

連絡先 ☎ FAX.03-3945-3945 E-mail masukohiroki@yahoo.co.jp

連絡先

増子ひろき 事務所

〒112-0012 文京区大塚5-20-5
TEL.090-3455-3945 FAX.03-3945-3945